

第22回東日本事例研究オンライン研修会 発表概要シート

法人名	社会福祉法人聖隷福祉事業団	施設名	油壺エデンの園
発表タイトル	いつまでも自分らしく健康で・・・ ～過去20年間における油壺エデンの園入居者の要介護認定発生率・健康寿命の算出と考察～		
研究の目的	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の基本情報のデータを細かく分析することで健康寿命や要介護認定における差異や傾向を把握する。 地域社会の高齢者と比較することで、園の仕組みやサービスを評価する。 		
発表の概要	油壺エデンの園入居者の要介護認定取得率・健康寿命を算出、入居者個々の要素をカテゴリー・細分化して分析をした結果及び神奈川県や全国の要介護認定取得率・健康寿命をグラフ化して報告。また、結果に至った要因の考察内容と今後の課題を報告する。		
研究方法	<ul style="list-style-type: none"> 2000年4月1日～2022年3月31日で契約した入居者を対象に、要介護認定取得率・健康寿命を算出 契約時の年齢、性別、入居種別、契約した居室配置等のカテゴリーに分け、数値の違いを分析 厚生労働省の介護サービス統計情報と入居者の数値を比較検証 (健康寿命に関しては、未認定及び要支援1～要介護1は身の回りの動作が自立、要介護2以上を不健康期間として算出した。)		
成果・結果	<ul style="list-style-type: none"> 70歳代の内に入居すると、自立を維持しながら、想定入居期間を超えて暮らせる可能性が高い 地域社会と比べ、油壺エデンの園入居者は、85歳以上の要介護認定取得率が低い 地域社会と比べ、油壺エデンの園入居者は、健康寿命が長い 介護サービスを軽度の状態(要支援1～要介護1)で利用している方が、健康寿命が長い 二人入居で同室者のご逝去があると、支援を要する割合が増加する 		
考察	<ul style="list-style-type: none"> トータルヘルスケアを提供する園の体制が、フレイル予防に効果を発揮している ケアマネジメントを早期から展開することで、自立(身の回りの動作が自立)している期間を延伸することができる 同室者のご逝去は、直接的に悲嘆を実感しやすく、心身の状態や生活機能にネガティブな影響が生じやすいため、生活状況の悪化や支援を要する割合が増加するため、グリーンケアの早期及び継続的な実施が課題 		
アピールポイント 伝えたいこと	<p>過去22年670人のデータをカテゴリー化して分析し、量的評価を行った。</p> <p>入居時自立型の介護付有料老人ホームとして、35年にわたり、自立期から看取りまで「トータルヘルスケア」の実践を行ってきた結果が可視化(数値化)ができた。</p> <p>分析対象を細かい要素に分けることで、全般的な支援や園の体制評価だけでなく、自立時期からの早期介入及びグリーンケアの強化等、より具体的な課題の策定が行えた。</p>		